

南会津地区総合型地域スポーツクラブ情報誌
平成27年度 第1号

「人気イベントとその運営について」

- ・ NPO法人ひのきスポーツクラブ
- ・ いな夢クラブ
- ・ 檜枝岐スポーツクラブ



NPO法人ひのきスポーツクラブ

ひのき駅伝大会



スポーツの秋を楽しむイベントとして、紅葉に染まった田島ダムを舞台に町内唯一の駅伝大会を開催しています。

- ・開催日時：10月下旬 8：30～14：00
- ・場所：南会津町高野地内 田島ダム
- ・参加資格：小学生以上の南会津町在住者
- ・部門：第1部は、小学3・4年生(ドキドキ Run)、小学5・6年生(ワクワク Run)、お父さんお母さん(パパママ Run)の3部門が出場する5区間6.5kmのコース。第2部は、中学生(イケイケ Run)、中学生以上の女性(ハツラツ Run)、一般(バリバリ Run)の3部門が出場する5区間10.4kmのコース。また、小学1・2年生を対象に個人タイムレース(ピカピカ Run)も開催。

- ・参加費：1チーム¥3,000/個人1人¥300

*参加人数

- 第1回：126名(小51/中20/一般55)
(2012) 24チーム/個人6人
- 第2回：110名(小50/中30/一般30)
(2013) 21チーム/個人5人
- 第3回：66名(小31/中10/一般25)
(2014) 12チーム/個人6人
- 第4回：90名(小40/中15/一般35)
(2015) 17チーム/個人5人

*どのように定着し始めたか

イベントを企画する際、「初心者でも気軽に楽しく走れる大会」を心掛けて、距離や部門を設定しました。駅伝は、中学生以上にならないと経験できなかったスポーツでしたが、小学生も学校やスポ少の友達とチームを作って参加したり、保護者チームを作って参加してくれたり、多世代が一堂に集まってスポーツを楽しむ場となっています。また、紅葉とダム湖を見渡しながらか走るコースも好評をいただいています。

*運営とそのPoint!

運営資金：参加費、町体育協会補助金

スタッフ：クラブ役員及び事務局、南会津町陸上競技協会など

広報：町内小・中学校、高校、スポ少などへちらしを配布。ポスターをコンビニ等に掲示。Facebook およびクラブウェブサイトでの呼びかけ。

*これからの目標

第10回までは継続して開催できるようにしたいと考えています。また、大会をきっかけに年間を通して仲間と走れる環境づくりにも取り組んでいきたいです。

いな夢クラブ

みんなで歩こうかい



11月3日、文化の日に開催。
地域の健康増進を目的として開催しており、タイムを競うのではなく、自分のペースでゴールを目指して歩きます。「スポーツ・文化」の両方楽しむことができ、小さい子どもから大人まで誰でも参加できます。ゴール後に豚汁やお楽しみ抽選会も行っています。

- ・日時：11月3日 文化の日
9:45～12:30
- ・場所：伊南地域古町地区周辺
- ・コース：5kmと3km
- ・参加資格：地域住民
- ・参加費：無料

*参加人数

2012年：109名
2013年：120名（小学生72/大人48）
2014年：116名（小学生66/大人50）
2015年：113名（小学生63/大人50）

*どのように定着し始めたか

地域の健康増進を目的とし、文化の日に行くことによって、普段運動をしない人もスポーツと文化の両方を楽しむ事ができる場所となっています。ウォーキングという

ことで気軽に参加でき、お友達同士での参加も増えています。開催前のコース整備や開催当日は道路の横断場所へスタッフを配置するなど、安全にも気を付けています。ゴール後の豚汁サービスや抽選会も楽しみの一つになっています。

*運営とそのPoint！

運営資金：運営費(豚汁材料, 抽選景品)は文化の祭典実行委員会より支出
スタッフ：いな夢クラブ役員
広報：ちらしを小学校および伊南地域各戸に配布

*これからの目標

地域住民の健康増進や交流の場所として今後もたくさんの人に参加してもらいたい。高齢者（手押し車など）の参加も増えてきているため、コースの距離や設定などの見直しをしていきたいと考えています。

檜枝岐スポーツクラブ

盆のソフトボール大会



毎年お盆に開催している恒例イベント。中学生以上から参加でき、3チーム総当たり戦で戦います。その年の参加者数に応じてチーム数は変わり、多世代の交流はもちろん、村を離れている高校生や大学生、さらに帰省された方も参加して、早朝からソフトボールを楽しむ大会です。

- ・日時：8月中旬(お盆) 5:00~7:30
- ・場所：檜枝岐村民野球場
- ・参加資格：中学生以上
- ・参加費：無料

*参加人数

中学生 5人~
高校生以上 30~40人

*どのように定着してきたか

とにかく「お声がけ」です。開催の時期が近づいてくると、村内の方々に声をかけるのはもちろん、帰省された方を見かければ、前日でもお誘いします。

また、檜枝岐村では男子の入団できるスポーツ少年団がソフトボールしかなかったため、大半の方がソフトボールを小学生

の時に経験しているのも、盆のソフトボール大会が定着し始めた理由だと思います。

*運営とそのPoint!

資金運営：体育協会の協賛

スタッフ：スポーツクラブ関係者

広報：①回覧でお知らせ

②村内放送

*これからの目標

ズバリ「継続」です。盆のソフトボール大会は、子供から大人まで多世代と、普段、村で生活している方々と帰省された方々とは、交流出来る大切な時間と場です。友人や親、親戚の方々と久しぶりに会える喜び、そして将来、高校・大学・社会人と檜枝岐村を旅立って行く子たちが、お盆に帰省する際の楽しみ、そして帰って来たいと思う理由の一つになればと思います。